

緑が丘

—「自分できめる」「みんなと決める」—
～今日も「学校が楽しかった」～

令和7年 9月 30日発行 三木市立緑が丘小学校



いのちとじんけん ～みんなが元気に気持ちよく！～

ふうっと一息ついて空を見上げると、秋の雲に変わっていることに気づきます。季節が動き、運動場で遊ぶ子どもの姿も増えてきました。

さて、9月28日・29日の修学旅行に同行しました。10月8日は人権参観日、人権講演会です。「なまえ」「ぼくってたからもの」「あなたは どう思う?」「大切なカード」「心の管理人」「自分と相手とのちがいを」を教材に各学級で学習します。人権講演会では「命の教室」～やさしい人になろう～をテーマに社団法人 Happy Tabby さんに、お話いただきます。修学旅行での平和学習、人権学習、講演会の共通点は「命」と「人権」です。

人権を平易にいうと

自分も人も大切にすること⇒自分らしく安心して安全に過ごせること

です。そして、その根源は自分の命もみんなの命も大切にすることでしょう。命とはつながりであり時間です。以前、朝会で子どもたちに考えてほしいと思い、ポイントを伝えた3冊の絵本を紹介します。どれも、



草場一壽さん作、平安座資尚さん絵「いのちのまつり」シリーズです。

みんな、大きな「つながり」の中で生きていること、みんなが気づいている「ほんとうに大切なこと」が絵本になっています。また、掲載詩「言葉の魔法」は、日常生活のコミュニケーションのあり方について、私たちに考えさせてくれます。日々交わす言葉の価値を改めて認識し、大切にすることの重要性が伝わってきます。時には、心ない言動に心を痛めることがあります。10月8日、親子で、そしてみんなで、人権について考え合う時間をきっかけに、言葉の魔法も上手に使い、互いに気持ちよく生活していくうえで大切なこと、言動に反映してほしいと願っています。みんなの元気が自分の元気。逆もまたしかりです。ご家庭でも話題にしていただけると幸いです。

(校長 佐野順子)

「思考に気をつけなさい。それは言葉になるから。言葉に気をつけなさい。それは行動になるから」(マザー・テレサ)

言葉の魔法

高月 うみ

言葉には
魔法のようなちからが
こめられている

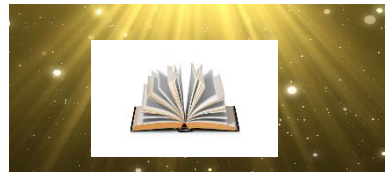
むずかしい言葉は必要ないさ
かんたんで
分かりやすい単語で話しても
君のたいせつな感情は
きっと届くよ

だけど
言葉にしないで

考えてくれない
わかってくれない
そう考えるのは
いけないことだからね

言葉には
魔法のようなちからが
こめられているから

きっと
君の大切な感情は
つたわるよ



【高月うみさんの note より】